

ID: _____ 患者氏名: _____ さん

経過	入院日(経皮的冠動脈形成術前日)	経皮的冠動脈形成術当日(治療前)	経皮的冠動脈形成術当日(治療後)	退院日
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
目標	治療の内容が理解でき、治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		退院指導の内容がわかる。
説明 指導 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活および治療の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) <ul style="list-style-type: none"> ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療中ご家族の方は東6B病棟でお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師から治療結果について説明があります。 ・治療した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、こすったりしないで下さい。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。 (治療直後に行くこともあります) <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> ・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 ・1時間前に手首の表面を麻酔するためのテープを貼ります。 ・治療前に点滴を行うことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を継続します。 ・治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。 ・4回目の空気を抜いた2時間後に手首に巻いてあるバンドを外します。 ・治療後に採血と心電図を行います。 ・点滴終了後、針は留置したままとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・治療翌日に採血と心電図を行います。 ・症状がなければ、留置針を抜去します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 			
生活 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子かベッドで1階のカテーテル検査室へ行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後はベッド上で安静にしてください。 ・治療後は、トイレまで歩くことができます。(足の付け根から行った場合は、6時間後になります) ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができます。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 			<ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・治療食となります。(カロリー・塩分制限) ・水分に制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 	
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 			<ul style="list-style-type: none"> ・退院時内服処方が必要に応じて出ることがあります。
観察			<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の状況により、足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。 	
備考				

注)予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。